

株式会社フレッシュズさま サステナビリティ経営への取組み



北洋銀行 ソリューション部
北海道共創パートナーズ コンサルティング事業部

フレッシュズ様が設定した目標・KPIは概ね順調に進捗しています。
環境面においては、CO2排出量の可視化をすすめており、今後、削減目標を設定するとともに、設定した目標の達成に向け、削減を進めていくとヒアリングしています。
社会面においては、正社員の新規採用を実施し地域雇用の取組みをすすめています。また、ワークライフバランスや健康経営の取組みも推進しておられます。
経済面においては、有機野菜を用いた新商品の開発や、有機野菜の使用率を高める取組みなどによるインパクトの創出を確認しています。今後も、製品の安全性確保と高付加価値化による、一層のポジティブインパクトの創出が期待されます。

SDGs達成とインパクトへの取組み

環境

- 2024年度は自社のCO2排出量が確認できる体制を構築しました。
2025年度はCO2排出量(Scope1・2)の削減量のKPI策定を予定しております。
- 歩留率、プラスチック使用量、水使用量については、2025年度から可視化を実施するとともに、KPIに基づく削減の取組みをすすめてまいります。

【インパクトに基づく取組内容とKPI】

インパクト	取組内容	KPI実績	KPI目標
● 環境負荷の低減	可視化、歩留向上によるフードロスの削減	【2024年度実績】 2025年度から可視化予定	2028年度までに歩留率を2024年度対比2ポイント改善する
	可視化、省エネ機器導入等によるCO2排出量の削減に向けた取組み推進	【2024年度実績】 可視化を開始	2025年度までにCO2排出量を可視化し、その結果を踏まえ次年度以降の排出量削減目標を設定し、その目標に沿って削減を進める
	包装資材・梱包材におけるプラスチック使用量の可視化および削減	【2024年度実績】 2025年度から可視化予定	2027年度までに売上高あたりの包装資材・梱包材のプラスチック使用量を2024年度対比5%削減する
	可視化、配水調整や蛇口の見直し等による水使用量の削減	【2024年度実績】 2025年度から可視化予定	2027年度までに売上高あたりの水使用量を2024年度対比3%削減する

社会・地域

- 2024年度は正社員を12名新規採用しました。引き続き、地域雇用に貢献してまいります。
- 今後もワークライフバランスや健康経営の推進、北海道産食材の積極利用に向けた取組みをすすめてまいります。

【インパクトに基づく取組内容とKPI】

インパクト	取組内容	KPI実績	KPI目標
● 従業員の健康促進	多様な人材が安心して安全かつ効率的に働き続けることができるようなマニュアル整備や、休暇制度の新設など働き方改革によるワークライフバランスの推進	【2024年度実績】 作成中(2025年度に整備予定) 【2024年度実績】 進捗なし(検討中)	2027年度までに作業手順を写真や図などでわかりやすく示したマニュアル整備を行う 2027年度までに従業員のリフレッシュを目的とした休暇制度を1件追加する
	健康診断後の再検査・特定保健指導の受診推奨、メンタルや体調不良者との面談・休職対応および復職面談の実施、ワクチン接種費用補助による感染症対策など健康経営の推進	【2024年度実績】 取得に向けた取組みを継続	2027年度までに健康経営優良法人認定を取得し継続する
● 地域との共生	地元食材の積極利用による、中小・零細企業を中心とする地元サプライチェーンの活性化	【2024年度実績】 計測を開始	2025年度までに北海道産食材の使用量を計測し、以降、使用量を毎年度増加させる
	正社員の積極採用による地域雇用への貢献	【2024年度実績】 本社工場と関東工場で各6名、計12名を新規採用	2025年度までに本社工場、関東工場の正社員を5名以上新規採用し、以降、1拠点あたり正社員5名以上の雇用を維持する

経済・ガバナンス

- 2024年度は有機野菜を用いた新商品として「オーガニックキャベツサラダ」や「オーガニック大根サラダ」等を開発しました。また、有機野菜の使用率は39.6%となりました。引き続き環境や健康に優しい製品の開発・販売に努めてまいります。
- 2024年度の売上高は841百万円となりました。今後も安全と素材のおいしさを追求した製品を提供してまいります。

【インパクトに基づく取組内容とKPI】

インパクト	取組内容	KPI実績	KPI目標
● 製品の安全性確保と高付加価値化	環境や健康に優しい製品の開発	【2024年度実績】 5件開発	2025年度までに有機野菜を使用した新商品を累計5件開発する
		【2024年度実績】 39.6%	有機野菜の使用率を2028年度までに40%、2033年度までに60%にする(2023年度:22.5%)
	安全と素材のおいしさを追求した製品の提供	【2024年度実績】 841百万円	売上高を2028年度までに1,389百万円、2033年度までに1,532百万円にする(2023年度:796百万円)
		【2024年度実績】 取得に向けた取組みを継続	2025年度までにJFS-B規格(※)を取得し、以降継続する ※一般財団法人食品安全マネジメント協会が開発・運営する食品の安全管理の取組みを認証する規格

